

# 第6章 事故防止等に向けて

## 1 各種刊行物の発行

運輸安全委員会では、個別の報告書に加えて、各種刊行物を作成し、公表しています。

各種刊行物は、ホームページに掲載するとともに、広く皆様に活用していただくため、ご希望の方へ「運輸安全委員会メールマガジン」配信サービスによる案内を行っています。

メールマガジン配信サービスは、航空・鉄道・船舶関係事業者、行政機関、教育・研究機関など多くの方に活用いただいています。

また、運輸安全委員会からの情報発信のあり方について、事業者等と意見交換を行っています。今後とも、頂いたご意見等を参考にして改善を図って参ります。

### 委員会HP画面



## 2 運輸安全委員会ダイジェストの発行

運輸安全委員会では、事故の再発防止・啓発に向け、皆様のお役に立てていただくことを目的として、各種統計に基づく分析やご紹介すべき事故事例を掲載した「運輸安全委員会ダイジェスト」を発行しています。

また、海外向け情報発信の充実に向けた「JTSB Digests (運輸安全委員会ダイジェスト英語版)」も発行しています。

平成27年は、「運輸安全委員会ダイジェスト」を4回発行(1, 4, 9, 12月、16-19号)し、「JTSB Digests」を1回発行(1月)しました。

各号の内容は、以下のとおりです。

① 運輸安全委員会ダイジェスト第16号[船舶事故分析集]「小型漁船における漁ろう活動中の死傷等事故の防止に向けて」(平成27年1月27日発行)

- ・発生状況
- ・事故調査事例「夜間、小型底びき網漁の投網を行った後、船長が落水して死亡」
- ・事故調査事例「夜間、底びき網の揚網中、乗組員がいないことに気付いて捜索したものの発見できず死亡」
- ・事故調査事例「底びき網漁の操業中、船長がネットローラーに網と共に巻き込まれて死亡」
- ・事故調査事例「操作レバーを逆方向に操作し、ロープとウインドラスの間に右手指が巻き込まれて負傷」
- ・事故調査事例「落水したものの、救命胴衣を着用していた同乗者が携帯電話で118番通報して早期救助」



② 運輸安全委員会ダイジェスト第17号[船舶事故分析集]「水上オートバイ事故の防止に向けて」(平成27年4月21日発行)

- ・発生状況
- ・事故調査事例「A船の船尾方至近を追走していたB船が、波に潜って停船状態となったA船に追突」
- ・事故調査事例「無資格の操縦者がバランスを崩して落水した状態で航行し、遊泳者に衝突」
- ・事故調査事例「発進時に最後部の同乗者が座席後方に落水し、噴流を下半身に受けて重傷」
- ・事故調査事例「えい航していた浮体が錨泊中のプレジャーボートに衝突し、浮体の搭乗者が負傷」



③ 運輸安全委員会ダイジェスト第18号[航空事故等紹介]「航空分野における「ヒヤリ・ハット」について」(平成27年9月15日発行)

- ・事故内容
- ・事故調査事例「降下中に先行機の強い後方乱気流に遭遇して機体が動揺し、後部ギャレーにいた客室乗務員2名が転倒」
- ・ヒヤリ・ハット事例「離陸直後、先行する航空機からの後方乱気流に巻き込まれてしまった」
- ・事故調査事例「大型旅客機からの後方乱気流により、着陸した小型機がかく座した事例」
- ・重大インシデント調査事例「関西国際空港に進入中、閉鎖中であつた滑走路に着陸しよ



うとしたが、その後復行」

- ・ヒヤリ・ハット事例「航空機が着陸時に空港へ進入するルートを誤る」

④ 運輸安全委員会ダイジェスト第 19 号[船舶事故分析集]「遊漁船事故の防止に向けて～釣り客の安全確保のために～」(平成 27 年 12 月 15 日発行)

- ・発生状況
- ・事故調査事例「錨泊中、ブルワークの上を歩いていた釣り客が落水して死亡」
- ・事故調査事例「船尾甲板上でクーラーボックスに腰掛けていた釣り客が落水して死亡」
- ・事故調査事例「船首甲板の前方に座っていた釣り客が船体の動揺により浮上、落下して負傷」
- ・事故調査事例「漂泊中、船長が釣り客の写真を撮っていて接近する船に気付かずに衝突」
- ・事故調査事例「航行中、船長が釣り客との会話に夢中になって見張りを行わず漂泊船に衝突」
- ・事故調査事例「夜間、釣り場に向け航行中、岩場に衝突し船長、釣り客が負傷」
- ・事故調査事例「岩場から船に移乗しようとしていた釣り客が乗降用タラップから落水し死亡」
- ・事故調査事例「岩場に瀬渡し中、船尾方から大波を受け転覆、1人死亡、6人負傷」



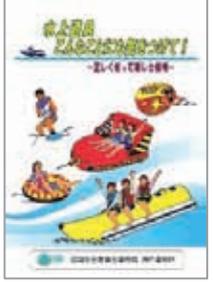
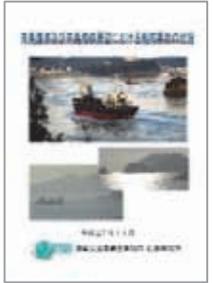
⑤ For Prevention of Accidents due to the Shaking of the Aircraft (平成 27 年 1 月 27 日発行)

3 地方版分析集の発行

運輸安全委員会では、各地方事務所が、その管轄区域内で調査した船舶事故に関して、それぞれ特色のある海域、船種、事故の種類など、テーマを絞って分析を行い、船舶事故等の防止に関する各種の情報提供を行うため、地方版分析集として発行しています。

(平成 27 年発行の地方版分析集)

<p>横 浜</p>	<p><b>「船で釣りを楽しむために！」</b> <b>“プレジャーボートの事故防止に向けて”</b></p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生状況</li> <li>・事故等種類別の状況</li> <li>・再発防止に向けて</li> </ul>	
------------	--	--

<p>神戸</p>	<p><b>水上遊具 こんなことにも気をつけて！ ～正しく使って楽しさ倍増～</b></p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水上遊具による遊興時の事故（4例）</li> <li>・再発防止策</li> </ul>	
<p>広島</p>	<p><b>来島海峡及び来島海峡周辺における船舶事故の状況</b></p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来島海峡及び来島海峡周辺における船舶事故の状況</li> <li>・事故発生の状況と船舶の交通量</li> <li>・事故の内訳</li> <li>・来島海峡周辺における船舶事故の分析</li> <li>・事故事例（4例）</li> <li>・海域別の注意点</li> <li>・まとめ</li> </ul>	
	<p><b>花火大会と船舶事故について ～かき筏に注意。帰航時に事故多発！～</b></p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年7月26日(土曜日)の花火大会で発生した船舶事故</li> <li>・過去にはこんな事故もありました</li> <li>・身を守るポイント ほか注意事項</li> <li>・まとめ</li> </ul>	
<p>門司</p>	<p><b>関門港における灯浮標等衝突事故の状況</b></p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・船舶事故及びインシデントの発生状況</li> <li>・関門港における灯浮標等衝突事故の詳細について</li> <li>・事故事例（2例）</li> <li>・まとめ</li> </ul>	
<p>長崎</p>	<p><b>九州西岸における居眠り運航事故の状況</b></p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居眠り運航の事故の発生状況</li> <li>・船舶事故事例</li> <li>・事故の教訓</li> <li>・まとめ</li> </ul>	

那 覇	<p><b>さんご礁海域における転覆事故の状況</b></p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに ～さんご礁海域における転覆事故について～</li> <li>・事故の発生状況 ほか</li> <li>・事故事例 (3例)</li> <li>・まとめ ～転覆事故の再発防止に向けて～</li> </ul>	
-----	---	---

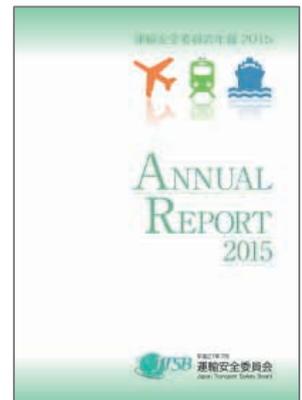
個々の地方版分析集を読んでいただくと、地方特有の事故事情について知るだけでなく、新たな事故防止のヒントを発見していただけるかもしれません。

各地方事務所では、更に内容の充実を図りながら、今後も定期的に地方版分析集の発行に取り組んでいきます。

#### 4 運輸安全委員会年報の発行

平成 26 年の活動全般を紹介することにより事故等の教訓を広く共有するため、平成 27 年 7 月に年次報告書として「運輸安全委員会年報 2015」を発行しました。

また、海外に向けた情報発信への取り組みの一環として、同年報に記載のトピックを海外の方々を知っていただくため、平成27年12月に、英語版年報「JAPAN TRANSPORT SAFETY BOARD ANNUAL REPORT 2015」を発行しました。



## コラム

## マリンレジャー船舶への情報発信

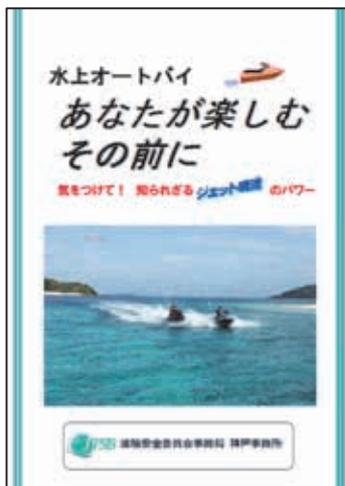
神戸事務所

運輸安全委員会事務局神戸事務所では、担当する区域に滋賀県琵琶湖が含まれており、また沿岸部には大小の海水浴場や様々なマリンレジャースポットがあることから、レジャー船舶の事故調査結果について分析集を作成することとし、事故事例を基に平成25年から平成27年にかけて3種類のリーフレットを作成しました。そのうえで運輸安全委員会の任務である“事故の防止や被害の軽減を図る”目的で、作成したリーフレットをレジャー船舶の安全協会等の団体やレジャー施設などに直接持参し、周知活動を行いました。

リーフレットを作成するにあたり心掛けたことは、これからレジャーを楽しもうとしている方々に、どういう動作が危険なのか、また、どのような注意が必要なのかということを知り易くという発想で、一見して分かるような内容にすること、そのためのイラストを前面に出すことです。

作成したリーフレットは、琵琶湖においては、滋賀県水上安全協会から送付依頼があり、小型船舶免許の講習の際、受講者に配布され、活用されているようで、そうしたことを聞くと、やりがいを感じると同時に、レジャーでの船舶事故が、琵琶湖だけでなく全ての海域、水域で無くなるよう心から願って止みません。

## レジャー船 三部作



※ 公益財団法人マリンスポーツ財団から、当事務所が作成したリーフレットの内容、イラストを引用したいとの依頼があり、このようなポスターとして周知されました。

これからも、「海の安全」が守られていくような、リーフレットの作成を心掛け、適時、適切な情報発信をしていきたいと思っております。



大阪府貝塚市の二色の浜公園に掲示されているイラスト

## 5 船舶事故ハザードマップ・モバイル版 ～利用者の拡大に向けて～

運輸安全委員会は、公表した船舶事故等報告書を有効に活用していただくため、地図上から報告書を検索できる「船舶事故ハザードマップ」をインターネットサービスとして、平成25年5月末から提供を始め、平成26年4月から外国の船舶事故調査機関が公表している調査報告書を世界地図上から検索できるようにした「船舶事故ハザードマップ・グローバル版」(J-MARISIS:Japan-Marine Accident Risk and Safety Information System)を公開しました。

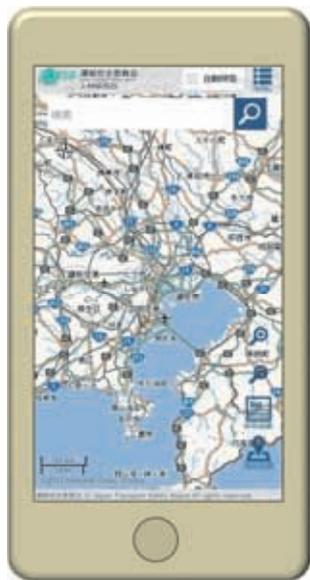
近年、スマートフォンやタブレットといったモバイル端末によるインターネット利用者が増え、モバイル端末で使いやすいようにしてほしいとの要望を受けたことから、平成27年6月末から「船舶事故ハザードマップ・モバイル版」を公開しました。

タッチパネルに対応して表示ボタンやレイアウトを変更し、操作性を向上させ、モバイル端末のGPS機能を利用して、現在地付近の情報を表示できるようになっています。

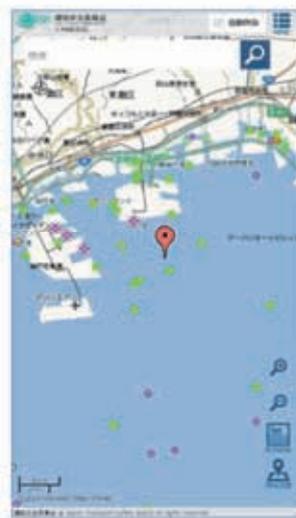
従来のパソコン版と同じ内容の事故情報等を閲覧できますので、プレジャーボートや遊漁船など小型船舶のユーザーが、航行しようとする海域での事故の情報などをスマートフォンやタブレットで簡単に確認し、安全運航に役立てていただくことを期待しています。



アドレス <http://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/mobile/index.html>



トップページ



GPS機能を利用して現在地付近の情報を表示した画面

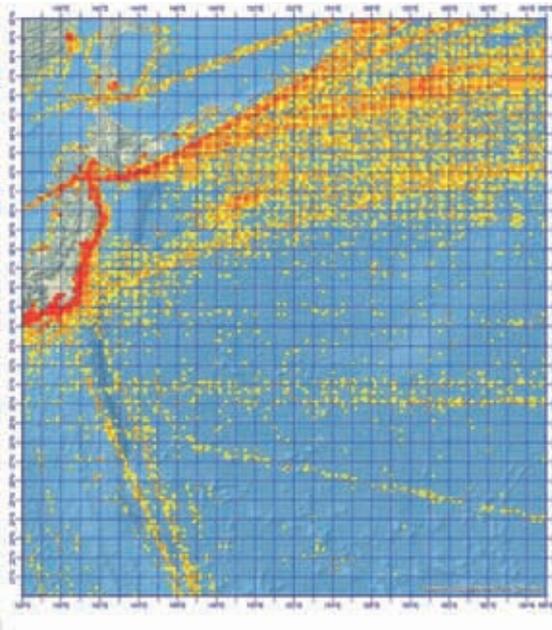


事故情報を表示した画面

コラム

衛星搭載船舶自動識別システム実験による船舶密度について

事故防止分析官



運輸安全委員会では、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）の協力のもと、衛星搭載船舶自動識別システム実験（SPAISE ※）の結果から船舶密度図を作成していただいております。

以前の小型実証衛星4型（SDS-4）では、データの集積が隔週で行われていましたが、平成27年から運用が開始された、だいち2号（ALOS-2）ではデータの集積が毎日できるようになり、精度が格段に向上しました。

左図はウェブサイトで公開している平成27年の1年間を通した船舶密度図です。このほかに、4半期毎の船舶密度図をも併せて公開しています。（黄色→橙色→赤色の順に船舶密度が高くなります。）

船舶事故ハザードマップの“リンク集”をクリックして、下欄に表示される“☆リンク（航行情報等）”から船舶密度図のページへ移動することができますので是非ご覧ください。

今後とも、皆様からのご意見、ご要望をお聞きしてさらに内容の充実を図ってまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

※ 衛星搭載船舶自動識別システム実験「SPAISE」

<http://www.satnavi.jaxa.jp/experiment/spaise/>



6 出前講座（講習会等への講師派遣）

運輸安全委員会では、私たちの行っている業務についてももっと知っていただくとともに、皆様のご意見やナマの声を聞かせていただく場として「出前講座」を行っています。

講師を派遣できる講座としては、航空・鉄道・船舶の事故等の防止、被害の軽減に役立てていただくお話で、各種講演会や学校等へ職員を講師として派遣しています。

講演の内容は、ご依頼いただいた団体が選ばれた講座を基に、受講者のニーズに合わせた内容を盛り込むなど柔軟に対応しています。

申込み方法は、運輸安全委員会のホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/jtsb/demaekouza.html>



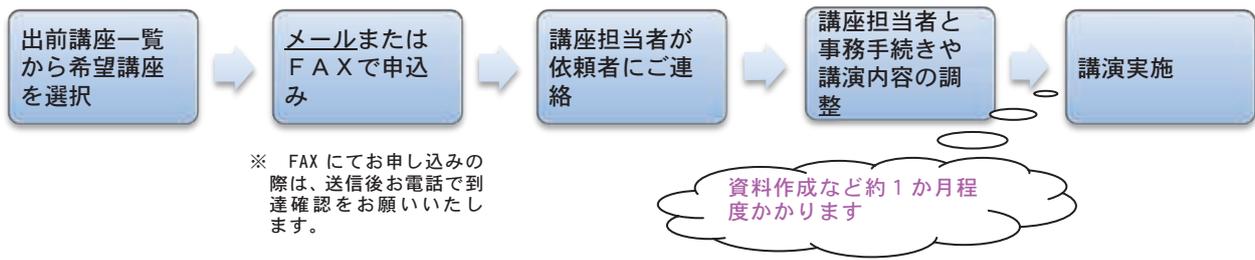
講習会の様子

出前講座一覧

No.	講座名	主な対象	講座内容
1	運輸安全委員会について	一般（高校生以上） 運輸関係事業者等	運輸安全委員会の組織経緯、業務などについてわかりやすく説明します。
2	事故調査って何だろう？	小学生以上	小学生以上の子供に「事故調査」についてわかりやすく説明します。
3	航空事故調査について	一般（高校生以上） 航空関係事業者等	航空事故調査について、その経緯や具体例などを交えて説明します。
4	鉄道事故調査について	一般（高校生以上） 鉄道関係事業者等	鉄道事故調査について、その経緯や具体例などを交えて説明します。
5	船舶事故調査について	一般（高校生以上） 海事関係事業者等	船舶事故調査について、その経緯や具体例などを交えて説明します。
6	運輸安全委員会ダイジェストについて	一般（高校生以上） 運輸関係事業者等	これまでに発行した運輸安全委員会ダイジェストをもとに、各モード横断的に事故等事例紹介や各種統計資料についての解説を行います。
7	運輸安全委員会ダイジェスト（航空事故分析集）について	一般（高校生以上） 航空関係事業者等	運輸安全委員会ダイジェストにおいて、航空事故分析集として扱った各テーマについて解説を行います。
8	運輸安全委員会ダイジェスト（鉄道事故分析集）について	一般（高校生以上） 鉄道関係事業者等	運輸安全委員会ダイジェストにおいて、鉄道事故分析集として扱った各テーマについて解説を行います。
9	運輸安全委員会ダイジェスト（船舶事故分析集）について	一般（高校生以上） 海事関係事業者等	運輸安全委員会ダイジェストにおいて、船舶事故分析集として扱った各テーマについて解説を行います。
10	船舶事故発生の傾向と再発防止について	一般（高校生以上） 海事関係事業者等	「船舶事故ハザードマップ」を用いて、船舶事故の多発する海域やリスクについて図解し、事故防止対策について説明します。
11	地方事務所の分析集（船舶事故関係）について 〔函館、仙台、横浜、神戸、広島、門司、長崎、那覇の各地方事務所〕	一般（高校生以上） 海事関係事業者等	地方事務所の分析集について、各テーマの解説を行います。 ※リストは以下をクリックすると確認できます <a href="http://www.mlit.go.jp/itsb/bunseki-kankoubutu/localanalysis/localanalysis_new.html">http://www.mlit.go.jp/itsb/bunseki-kankoubutu/localanalysis/localanalysis_new.html</a>

※No.11は、原則、地方事務所の管轄区域のご依頼に限らせていただきます。

## お申し込みから講演実施までのフローチャート



## 7 事故被害者情報連絡室の活動状況等について

運輸安全委員会では、被害者やそのご家族、ご遺族の心情に十分配慮し、事故調査に関する情報を適時適切に提供するとともに、ご意見などに丁寧に対応することを目的に、平成23年4月、被害者等への事故調査情報提供窓口を設置し、さらに情報提供を推進するため、平成24年4月に、訓令上の組織として「事故被害者情報連絡室」を設置し、地方事務所にも情報提供窓口を置き、東京と一体的に対応しています。

平成27年は、航空・鉄道・船舶事故29件の被害者等61名の方へ事故調査等の情報提供を行いました。

また、その他の活動状況等は次のとおりです。

## ○事故被害者への慰霊について

平成27年は、日本航空123便の御巣鷹山墜落事故発生から30年、営団地下鉄日比谷線脱線事故発生から15年、JR福知山線脱線事故発生及び竹ノ塚踏切事故発生から10年という節目の年を迎えました。当委員会では、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げるため、それぞれの事故現場において運輸安全委員会委員や事務局長による献花を行いました。

実際に慰霊させて頂くことにより、今なおつらい思いをされている方の思いに触れ、ご遺族や被害者の心情に寄り添うことの重要性を再認識しました。



御巣鷹山墜落事故献花台での慰霊



竹ノ塚踏切事故献花台での慰霊

○ J R 福知山線脱線事故「追悼と安全のつどい 2015」への参加

平成 27 年 4 月 25 日、平成 17 年 4 月 25 日の福知山線脱線事故が発生してから 10 年という節目に「追悼と安全のつどい 2015 鉄道の安全—その重要性と意義 “事故の共同検証 10 年を経て”」が開催されました。

ご遺族や有識者の方の講演があり、事故から 10 年が経過したが、まだ検証すべき点が残っているのではないかといったお話等を伺い、被害者の方やご遺族等への事故調査報告書をはじめとする調査に関する情報提供の重要性を再確認しました。



講演の様子

事故被害者情報連絡室では、情報提供を推進するため、事故被害者等の皆様へ「連絡先伝達カード」をお渡ししています。

事故の被害者及びそのご家族・ご遺族の皆様からの事故調査に関するお気づきの点などについて、お話をお伺いしていますので、下記連絡先までお気軽にご連絡を頂けましたら幸いです。

<連絡先伝達カード>

事故に遭われた方々への  
情報提供を行っています。

---

運輸安全委員会事務局  
事故被害者情報連絡室

*Japan Transport Safety Board*

**運輸安全委員会事務局 事故被害者情報連絡室**

---

電 話： 03-5253-8823    FAX: 03-5253-1680  
メー ル： jtsb\_faminfo@mlit.go.jp  
住 所： 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-2

---

函館事務所：0138-43-5517	仙台事務所：022-295-7313
横浜事務所：045-201-8396	神戸事務所：078-331-7258
広島事務所：082-251-4603	門司事務所：093-331-3707
長崎事務所：095-821-3537	那覇事務所：098-868-9335

*Japan Transport Safety Board*